

旭川地域小規模多機能型居宅介護事業所連絡会

平成 25 年度 第2回役員会の内容

○出席者 会長:板橋 副会長:清水 監事:東前 監事:柴田 会計:小林 事務局:布重

○日 時 平成 25 年 8 月 26 日(月)14:00~15:20

○場 所 旭山なかまの家3階

①アンケート集計及び介護高齢課訪問のご報告

※ 添付資料にて

介護保険から要支援の方が外れたり、自己負担額が2割になったりした場合など今後一体どうなっていくのか?困った事例などは旭川市などへ情報として上げさせていただきたいと思う。

具体的なところでは…@市民向けのフォーラムや地区市民委員会などでの発表。

@市の社会福祉審議会や認定調査委員会へ、連絡会として参加。

※ 10月広報発行時に抜粋して転載及びホームページなどの周知。

②9月19日(木)労務研修会について

・小規模多機能事業所にとどまらず、広く周知していきたい。

→日程も迫っているので、早急な周知を行う。

・旭川トヨタレンタリースによる福祉車両の展示があります。

→助手席リフトアップ等の数台の展示と実際に操作ができます。

@日没前に福祉車両の展示・操作などの体験、質問。

@おおよそ19時頃から労務に関する研修会を始めたい。内容は、旭川市の運営調書の基ついての流れにしていく。

@11月10日介護の日イベント、11月21日~22日全国小規模多機能連絡会による札幌での研修会、12月12日褥瘡予防拘縮予防等の研修会のご案内もアナウンス。

③11月11日(月)介護の日に伴い、11月10日(日)イベントについて

11時~15時

目的 ・介護のすばらしさを多くの方に知っていただく

・小規模多機能居宅介護事業所のアピール(啓蒙)

・介護相談

各事業所パンフや利用者さん作品、写真などを持ち寄り展示。会場に連絡会の人員に留まって頂き、来場者の案内や、質問・相談などに応じたい。

※ 福祉を学んでいる学生さんにも声掛けしたい。(学校などにお知らせする)

※ 10月に連絡会の広報を発行するので同時にアナウンスしていく。

④12月12日（木）研修会について

※ 介護用ベット及び耐圧分散マット並びに拘縮予防&改善の講習
以下、案（イメージ）

○褥瘡予防&ポジショニング研修

サブタイトル～介護施設で出来る拘縮改善

主催 旭川地域小規模多機能事業所連絡会

共済 ・パラマウントベット旭川営業所

・株式会社 ケープ → URL <http://www.cape.co.jp/>

※ 小規模多機能型居宅介護は今後、在宅復帰支援という役割も視野に入れていかなければならないと思う。その為にも技術・知識習得は必須と思える。

※ 研修開始前に介護用品数点ご紹介。

・拘縮予防パット・ハルルンパック・おでかけチーフなど。

⑤11月21日（木）～22日（金）

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会主催の研修会 in 札幌

およその流れ…1日目…午後より開始→制度改正について（これまでと今後）

…2日目…午前→分科会。 午後→まとめ

⑥旭川地区ヘルパー連絡会との共催で事例研究会開催の模索

「訪問」の部分での事例共有

「訪問介護事業所」での困難事例や成功事例を聞くことにより、職員のスキルやモチベーションのアップにつなげたい。また、逆に小規模多機能ならではの事例を発表し「訪問介護」との違いを認識・共有していきたい。

⑦その他

・網走のグループハウス入居を、東京で招致している。女満別空港があるのでその利便性に目を向けたようだ。否定はしないが、福祉の原点は「住まい」である。これを重視しなければ介護保険は成り立たないのではないだろうか？

・特定疾患について…例えば「肝炎」を特定疾患と認めているのは日本でも数県しかない。これにより「居住地変更」の事例が発生する可能性がある（特定疾患を認めてくれる地に転居）。住み慣れた地域を離れて暮らさざるを得ないという状況が出てくる。

以上です

（報告者：布重）